

奈良印良品

～キラリと光る 人・もの・知恵～

VOL.3

シートベルト用部品をメインに作られています、どのような製品ですか？

シートベルトの収納部分の中にあるギア（歯車）です。衝突時に作動してベルトを巻き取り、体をギュッと締めて前に行くことを防ぐ重要な部分です（下



▲冷間鍛造プレス300トンと飯塚靖取締役、飯塚博代表取締役、飯塚智取締役（左から）

「モノづくり」の大好きな社長が開発したシートベルト用部品。小さな部品が見えないところで、みんなの命と安全を守っていた！

シートベルト用部品で世界へ急発進！

写真の赤丸。他にエアバッグ用の部品も作っていて、どちらも冷間鍛造技術を駆使しています。

冷間鍛造技術とは？

日本刀を鍛えるのとは違い、材料となる鉄に熱を加えずに常温で、大きな圧力をかけて鍛える加工法です。下図のように金型に鉄をセットして①、上から圧力をかけて、金型の中で鉄を引き伸ばしながら成形します②・③。その後、底の打ち抜き工程を経てリング状の製品ができあがります。金型設計・製作から鍛造・機械加工までの一貫した取組で、低コスト・高品質・大量生産を可能にしました。

世界的な不景気にも関わらず、増収増益されていますね。成功の秘訣はなんでしょうか？

若手を育成することですね。うちは人が資本なんです。今は、世界中で一番安くて一番いいものしか使ってもらえません

ら、開発には時間もお金もものすごくかかっていますよ（笑）。

壁にあたって行き詰まる。そこから飛び出せる人が伸びていきます。人まねではだめ。自分で考えないと新しいモノは生まれません。そんな環境作りを徹底してやっています。

今後の目標を教えてください。

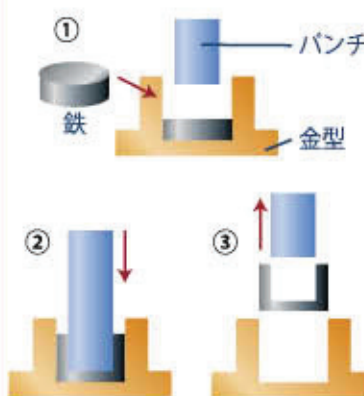
現在、輸出は北米が中心ですが、今後の需要・発展が期待される中国やインドへの市場拡大を考え、海外戦略室を設置しました。材料や金型が破損しやすいなど、冷間鍛造は難しい技術ですが、高度な技術は日本の役割です。

若者へのメッセージをお願いします。

うちはチャンスも評価も公正です。派遣社員から会社の心臓部である鍛造部のリーダーになった人もいます。「本人のやる気」が一番大切。就職活動の時は、県外や大手企業に目が行きがちですが、県内にもがんばる企業があることを知ってほしい。若い人に技術を引き継ぐことが使命だと思っています。



冷間鍛造技術のイメージ図



株式会社飯塚製作所

所 本社・大和高田市根成493
0745・22・3515
0745・22・3516
www.iidzka.co.jp

（株）飯塚製作所は、昭和39年に金属プレス加工業として創業。（財）奈良県中小企業支援センターが紹介する「なら発ものづくりオンラインワン」企業の1つでもある。2007年度の売上高21億円。

「お客様の注文は100%成功させてきた。今までにないモノを造るのが飯塚」と自信を込めてきっぱり言い切る飯塚社長。挑戦し続けることの大切さを改めて感じました。

▲代表取締役 飯塚博さん



海外戦略を進める取締役 飯塚 靖さん

